

事務所:〒270-1143
我孫子市天王台4-3-11
TEL→FAX:04-7183-6700
自宅:青山台4-2-14

こんにちは 我孫子市議会議員

かい俊光



自民党

◎2040年に若年女性45%減!早急の対策を

◎サッカー、ラグビーもできる陸上競技整備を!

◎大綱1 当市は消滅可能性予備都市か

(1)日本創成会議の試算で2040年に896自治体が消滅可能都市へ。我孫子も試算すると約45%若年女性の減少。合計特殊出生率も1.16。人口減少に歯止めを→あびこの魅力発信室などで街の魅力増加。交通の利便化や企業立地の推進し働く場の提供、子育て支援も。少子化対策の検討プロジェクトチームを立ち上げ。

(2)一時預かり保育の要望が5年前より2倍に。子育て支援の為に一時預かり保育の充実を
ア.一時預かり保育のできる保育園を増やしては→昨年より1園増加

イ.公立保育園は現在つくし野のみ。公立だからこそ一時預かり保育を→育児リフレッシュに有効。一時預かりの定員増難しいが。

ウ.問い合わせでも受け入れてくれないところも多い。保護者の手間を省くために一時預かり保育について一元管理を→日々刻々と変わっていく。一時預かり会議を年4回やっているの、その中で議題に。

(3)子育て中の部下の生活を理解し応援する「イクボス」(業務成績も上がるという報告もある)養成を。→男女共同参画でワークライフバランスの充実などを。積極的に取り組んでいく

乱について→将来的にインターネットで統一申込。

◎大綱3 地域コミュニティの活性化について

(1)久寺家、天王台北のモデル地区は→まち協を事務局に。天王台北地区についてはこれから。

(2)モデル地区のテーマ設定は→久寺家では県のモデル地区として高齢化問題。天王台北地区はこれから決定

(3)地区に担当職員の派遣を→職員がオブザーバーとして参加、相談にのる

(4)責任、相談先等を明確にするために地域コミュニティ対策本部をつくっては→モデル地区の運営状態を踏まえ庁内体制を検討。

◎大綱4 ろうあ者に対する行政について

1手話通訳派遣事業において詳細を→市外の場合も市の負担により聴覚障害センターと調整し現地で集合し手話通訳。

(4)街の活性化、子育て支援になる、子世帯と近居し家計を一緒にする親、兄弟を指す「インビジブルファミリー」に支援を→兄弟姉妹についても住宅支援の加算要件にのるように検討。子育て支援の要件についても49歳まで引き上げ。最大80万円の支援。

(5)成田線を利用した新たな婚活イベントを→社協でお見合いイベントは人気。社協で検討。

◎大綱2 スポーツ振興に力を入れて

(1)駅伝の中央学院大学やNECグリーンロケッツ、将来のなでしこジャパンを目指す子ども達もいる。周辺市で陸上競技場がないのは我孫子岳。サッカー、ラグビーもできる陸上競技場の整備を。五本松運動公園は?→スポーツ振興は重要。整備方法等について検討。

(2)第20回の記念大会を迎える手賀沼エコマラソンのイベント、エントリーについて

ア.20回目の記念大会での目玉は→柏出身のミュージシャンによる演奏予定。

イ.我孫子市の知名度アップになる試みは→我孫子駅と会場を結ぶシャトルバスを行き帰りに2便ずつ試験的に運行

ウ.郵送が早く締め切られた地元枠エントリーの混

2、我孫子にて手話通訳士がとれるように→県で協議し、東葛地区では我孫子市だけが応用課程まで受講可。実践課程まで受講出来るように要望。

◎大綱5 安全・安心行政について

1、道路の危険個所の見直しをし、エリアに区切って修繕計画を立てては→危険個所は多い。エリアごとの見直しを含め計画の見直しを進めていく

2、地震の震度が市民の体感と違う。地震計の設置場所の変更を→千葉県震度情報ネットワークが設置。18年経過したので、新たな震度計を設置しより震度が正確に。市庁舎敷地内に必要なので移動は難しい



＜手話言語法制定についての請願＞

ろうあ協会のお願いを受けて、「手話言語法の制定を求める意見書の提出を求める請願」を代表議員として提出しました。

歴史的にみると、これまでも聾学校では手話を教えておらず、手話で会話したり、学んだりする権利が保障されてきませんでした。しかし、国連で採択された障害者権利条約(初めて「手話を言語」であると認めた)を今年1月、日本が批准した事を受けて、手話を日常的に学び、使い研究する法律を認めて貰いたいという内容でし

た。条約です。日本でも、「改正障害者基本法」で「言語(手話を含む)」と画期的な法律改正しましたが、ろうあ者がまだまだ手話を社会の中で使うことを認められていません。そうした環境整備のために、欧州諸国で認められている手話を日本語と同様に言語として認める法律を制定して欲しいと趣旨でした。今回、全国ろうあ連盟が各支部に呼びかけて、全国の自治体で一斉に請願を挙げたそうです。

法律制定により、我々が日本語を使うのと同様に、手話の権利が保障される事を望みます。

「被災地福島県伊達市・浪江町視察」

7月15日に全国若手市議会議員の会災害対策部会(私が副部長です)にて福島県伊達市、浪江町を視察しました。福島第一原発が見える浪江町の海岸線より50km離れた伊達市の方が線量が高いのは、天候や風向き等が影響していますが、計測してみても改めて実感。

浪江町にある年間50mSV以上の地区は、帰宅困難地域と設定され、浪江町の西側、山沿いに当たるのですが、人気がなく、田畑、民家も荒れ放題です。バスの中にいるだけで線量計の値が上がって来ます。バスから降りるとスクリーニングが必要ですので、外にシンチエーションサーベイメーター(定価60万円)を出してみると9.7 μ SV程度。簡易線量計ですと10 μ SVまで測れるメモリを振り切りました。さすがに見たことない数値を見て驚愕。関西の議員は数値の怖さがピンと来ていないようでしたが。

最後は厳重なゲートの外で止められ、名簿と身分証明書を提示させられ、厳重な雰囲気の中で、バスの周りのスクリーニングを行いました。

■浪江町の隣、川俣町の堆積した除染した土を入れたフレコンパックの山。除染が進み、人家のない場所に仮置き場を確保していますが、国道を走っていても至る所で目につきます。中間貯蔵庫が待たれるところですが、協議がまとまらずどうなるのか、不安だと言っていました。



■NPO法人手賀沼フィルムコミッションの映画ロケ地誘致が行政の協力で成功し、角川系の映画のロケを市内某所で行う事になりました。ジャニーズのタレントや有名俳優も来ますので、詳細はまだ内緒ですが、公開の際には「ロケ地我孫子」として広報します。どうぞ宜しくお願い致します。

☆「生き甲斐、やり甲斐、育て甲斐」

原発被災地の悲惨な現状を見ましたが、だからといって脱原発だとは言えません。3年経っても居住できない状況を作り出さないように、原発に対し厳格なコントロールをしなければなりません。資源の無い地域での原発に頼った経済のことを思い、地元の方が「脱原発」を主張しない現状を見たとき、外部の人間がたやすく言うことができない雰囲気を感じました。福島県を離れている方は予想以上に少なく全体の2.3%。復興が進む福島県の事を本当に知っているのでしょうか。日本の電力事情を考えても、原発問題は本当に難しい問題です。



5 km先に見える福島第一原発 →

↑人気のない浪江町商店

☆活動ブログ毎日更新中！

E-mail : info@kai-toshimitsu.com

twitter : @Kai_Toshimitsu

Facebook : 「甲斐俊光」(ページも公開中！)

Instagram : akaitomato723で参加中！

1972年 7月23日 大分生まれ (樂觀的なO型)

1995年:慶応義塾大学法学部政治学科卒業

1995年:大手小売会社入社

2004年:衆議院議員桜田義孝秘書

2011年:我孫子市議会議員2期目当選

全国若手市議会議員の会副災害部会長

◎趣味 : ランニング(フル3時間12分)読書(漫画も)

◎マイブーム : ラーメン食べ歩き、自転車、パソコン
家族:妻、息子(1歳)

自民党我孫子市支部広報部長/環境都市常任委員長/放射能対策特別委員/隊友会特別会員/テニス協会/ウイングAC